

	検査項目	検査対象	基準値	検査結果に関連する病気・症状
肝機能検査	LAP (ロインアミノペプチターゼ)	さまざまな臓器や胆汁中に広く分布する酵素。おもに肝臓や胆道の障害を調べる	男性：45～81U/L 女性：37～61U/L	高値：慢性肝炎、肝臓がん、薬剤性肝障害、胆石等
	尿ウロビリノーゲン	胆汁内に含まれるビリルビンが腸内細菌によって分解されてできる物質 尿中の量から肝臓や胆道の障害の有無を調べる	弱陽性 (±)	陽性 (+)・・・肝機能障害、溶血性貧血、便秘等 陰性 (-)・・・胆道閉鎖、抗生物質の投与によるもの等
	HBs抗原、HCV抗体	B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルスの感染を調べる	HBs抗原が陽性 (+)・・・B型肝炎 HCV抗体が陽性 (+)・・・C型肝炎 (過去感染し治った場合も陽性になる)	
腎機能検査	尿酸 (UA)	たんぱく質の一種であるプリン体から分解された老廃物の血液中の量を測定する	2.1～7.0mg/dl	高値：高尿酸血症、痛風等
	クレアチニン (Cr)	アミノ酸の一種であるクレアチニンが代謝されたあとの老廃物で、血液中の量から腎機能障害の有無を調べる。筋肉量に比例するため、年齢・性別で差がある	男性：1.00mg/dl以下 女性：0.70mg/dl	腎炎、腎機能障害、腎不全等
	尿素窒素 (BUN)	たんぱく質が分解されるときにできる老廃物の一種。尿中に排泄されるが腎機能に異常があると血液中に増えるため、その量を測定する	8～20mg/dl	高値：腎機能障害、脱水症、消化管出血等 低値：低栄養など (妊娠で低値となる場合がある)
	eGFR (推定糸球体ろ過量)	クレアチニンの測定値をもとに年齢・性別から推算し、腎臓が老廃物を排泄する能力を調べる	60ml/分/1.73m ² 以上	慢性腎臓病 (CKD)
	電解質	体内の水分調節や神経伝達、筋肉収縮などの役割を果たす電解質濃度を調べる	Na (ナトリウム) : 135～145mEq/l	高値：脱水症、尿崩症など 低値：腎不全、心不全等
			K (カリウム) : 3.5～5.0mEq/l	高値：脱水症、糖尿病など 低値：嘔吐、下痢等
			Ca (カルシウム) : 8.6～10.2mg/dl	高値：副甲状腺機能亢進症等 低値：腎不全、ビタミンD欠乏症等
			Cl (クロール、塩素) : 98～108mEq/l	高値：脱水症等 低値：嘔吐、下痢等
			Mg (マグネシウム) : 1.9～2.5mg/dl	高値：腎不全等 低値：糖尿病等
	尿たんぱく	尿中のたんぱくの有無を調べる	陰性 (-)	糸球体腎炎、糖尿病性腎症、ネフローゼ症候群、妊娠高血圧症候群等
尿沈渣	尿たんぱくで異常が出たときに行い、尿を遠心分離機にかけ沈殿した成分の種類や数を調べる	赤血球・白血球4個以下 / (毎視野)	赤血球が多い・・・膀胱炎、尿道炎、腎盂腎炎、結石、腫瘍等 白血球が多い・・・膀胱炎、尿道炎、腎盂腎炎、炎症等 円柱細胞がみられる・・・腎炎、ネフローゼ症候群、腎盂腎炎等 上皮細胞がみられる・・・膀胱炎、尿道炎等	
尿潜血	尿中の血液の有無を調べる	陰性 (-)	膀胱炎、尿道炎、腎盂腎炎、尿路結石等	
膵機能検査：血清アミラーゼ	膵臓や唾液腺から分泌される消化酵素を測定し、膵臓の障害の有無を調べる	40～122U/l	高値：急性膵炎、慢性膵炎、膵臓がん、腎不全、唾液腺疾患等 低値：進行した慢性膵炎、膵臓がん等	